

身体知とは何か？

AI時代の今、
必要とされるもうひとつの知

既存の概念を超える創造性は、
どこから生まれるのでしょうか。

AIはあらかじめ与えられた言葉や概念の枠組みの中で処理を行うため、本質的にまったく新しい発想を生み出すことは得意ではありません。

一方、人間は身体を通して世界を感じ、動き、試しながら学びます。その過程で育まれる、言葉にならない「身体に根ざした知」、それが身体知です。

身体知は、既存の枠にとらわれない発想や、新たな創造性の源泉となります。



2026 FRI

3 / 6

18:00 - 19:30

そこで本講演では、
身体知とは何か、
なぜAI時代に重要なのか、
そして身体知をどう鍛えるのか
について、具体例を交えて
お話しします。

結城 俊也 氏

医療福祉学博士・専門理学療法士

講師

● お申込み方法

メールまたはQRコードのフォームより
3月5日（木）正午までにお申込みください。

※当日ご参加できなくとも、お申込みの方は一定期間
アーカイブ配信をご覧いただけます。

※ご提供いただく個人情報は、当協会セミナー、講演会
及び展示会関連等以外に使用いたしません。

● お申込み内容

- ① ご所属
- ② お名前
- ③ メールアドレス
- ④ 講師へのご質問（自由記述）



✉ library@eri.jspmi.or.jp

定員 100名